

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公

公表:令和 6年 1月 20日

事業所名 こぼんはうすくら 総社東教室

保護者等数(児童数)47件 回収数 42枚 割合 89%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	28		2	12		・活動スペースを広くするため、不要なものを置かないよう気をつけている。 ・人数が多い日は、児童の教室も使って活動している。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	36			7	・先生方の人数は全く知らないし、顔と名前が一致しない先生もいらっしゃいます。すみません。	・適切な職員配置をしています。 ・保育士、児童指導員、心理師を配置しており、専門性を高めるため、積極的に研修へ参加しています。 ・職員の名前や資格を年度初めにお伝えすることを検討します。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	28			14	・階段の手すりに高さの違うものがあり、室内は段差もなくて良いです。	
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	40			2	・いつも自分(親)の話した内容をきれいのまゝとめてくださっています。	・職員は、送迎時に保護者や子どもと話した内容を児発管や他の職員に共有し、計画に生かしています。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	38			4		・集団活動は、年間でプログラム計画されています。また、前年度と活動が被らないよう考えて組み込んでいます。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	16		10	16	・通学しているのですが、こぼんの活動中ではありません。	・今までは、コロナ禍で交流はありませんでしたが、機会をつくっていただけたらと思っています。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	38			4		・契約時に行っていますが、疑問点がありましたら、いつでもご相談ください。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	38			3	・話しすぎてしまう時もあるほどよく話を聞いて下さったり、教えてくださったりして、助かっています。ありがとうございます。	・こちらこそたくさん話してくださりありがとうございます。 ・送迎時に直接お話ししたり、連絡帳にて本日の様子をたくさん伝えられるよう心がけています。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	40			2		・半年ごとの面談はもちろん、それ以外にも、送迎時や電話での助言を行っています。保護者様からの電話件数も多いです。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	23		2	16	・なかなか、仕事の都合があいませんが、いつか参加してみたいです。	・2年続けて開催できています。前年度に続いてご参加くださいました保護者の皆様ありがとうございます。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	31			10	・朝、早い時間だったにもかかわらず電話対応して頂いてとても助かりました。ありがとうございます。	・苦情の連絡、報告を受けたことがありませんが、あった場合は迅速に対応いたします。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	40			2		・情報伝達は、その都度お知らせを作成し、連絡帳に添付しています。急ぎの場合は、電話にてお伝えしています。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	30			12		・定期的ではありませんが、その都度お知らせしています。
	14 個人情報に十分注意しているか	38			2		・個人情報、鍵付きの棚に保管しています。
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	38			4		・契約時に説明しています。また、教室内にも掲示しておりますのでご覧ください。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	38			4		・年に2回、避難訓練を実施しています。 ・訓練は、集団活動に組み込まれており、実施日には、連絡帳に記載しています。
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	40			2	・楽しみにしています。 ・毎回、次の予定を子どもが確認しながら楽しみにしていて、心のよりどころとなっているみたいです。	・ありがとうございます。
	18 事業所の支援に満足しているか	40			2	・相談に乗ってくれて感謝しています。 ・子供も先生方になついていますし、子どもの様子をしっかりと見てくれて感謝しています。保護者の話も親身に聞いてくれます。いつもありがとうございます。 ・親としては、いつも相談しやすくてとてもありがたいです。子どもも上手いかない時、楽しく過ごせたととき、その日によって様々ですが、いつも先生方が適切に対応し、寄り添ってくださっていることが分かるし、その日あったことをきちんと教えてくださるので、感謝の思いでいっぱいです。 ・サービス等とてもよくしていただいて、満足しています。	・こちらこそ、いつも当事業所の活動にご協力いただき、ありがとうございます。また、お子様の様子やご家族のお気持ちを率直にお聞かせくださり、感謝しております。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 1月 20日

事業所名 こぼんはうすくら 総社東教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8		・人数が多い日は、部屋を分けている。	・学年が上がり、遊びより勉強に時間を使いたいと考えるお子様が増えてきています。人数に限らず、静かな部屋を提供したいと思っています。
	2 職員の配置数は適切である	7			・適切な職員配置をしています。 ・保育士、児童指導員、心理師など専門の資格を持った職員が携わっています。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	3	・施設が2階のため、外階段を使用する必要があるが、子どもが使用する際には、見守る職員を多めに配置している。	
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	8			・月に2、3回、職員が多く出勤している日に会議や意見交換を行っています。 ・日々の振り返りは、お子様が帰った後、随時行っています。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8			・アンケート結果を受け、保護者様の意見を真摯に受け止め、改善していきます。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7	1	・本部のホームページで公開している。	・こぼん本部のホームページで公開しています。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	7	1		
適切な支援の提供	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8		・事業所内研修のほかにも、学校や他の事業所訪問の機会をつくってもらい、資質の向上が行えた。	・他の事業所への訪問を積極的に行い、支援の方向性を見つけ出したり、資質の向上につなげています。
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8			・面談や相談で、問題点を浮き彫りにし、お子様、保護者様、学校のニーズに沿った計画を作成しています。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7			
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	8		・次の週の活動について、話し合う時間を設けている。	・一人の職員が立案するのではなく、数名が考え、他の職員にも相談しています。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8		・次の週の活動について、話し合う時間を設けている ・集団活動では、新しい活動を取り入れている。	・1、2年前のプログラムを見直し、子供の意見も聞きつつプログラムを立てています。 ・日々の活動の中から、子どもの苦手、得意を探し出し、集団活動に取り入れています。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	8		・休日、長期休暇には、平日には時間が無くて取り組めない課題(主にSST)に取り組んでいる。また、遊びの中で他児との関りかたも観察するようにしている。	・休日や長期休暇は、療育時間の違いを利用して、時間をかけて取り組む課題を提供しています。また、時間がある時は外での活動を積極的に行っています。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	8			・個別課題で、SSTを行い対処法を知り、集団活動でそれが生かしているか、確認をしています。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8		・朝礼時に確認を行っている。	・朝礼で役割り分担や打ち合わせをしており、午後出勤の職員にも主の担当者がその都度確認をしています。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7		・必要に応じて日報に記入し、職員の共通理解につなげている。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8		・記録は必ず残し、次回の支援に反映させている。	・記録をするともに、その日の様子を他の職員と情報共有、意見交換を行っています。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	8			・半年ごとに行い、支援計画作成に生かしています。
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	7			
	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8			・最もふさわしい者が、出席しています。
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	8			・送迎時に学校から直接、または保護者様からの連絡により迅速な情報共有を行っています。

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	5	2	・事業所が2階にあるため難しい。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	7			・就学前に関連機関と密に連絡を取り、情報共有と相互理解に努めています。 ・送迎時に先生方から情報共有の依頼があり実現しているケースが多いです。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	4	2	・まだ、移行した児童がいない。	・その年齢に達したお子さんがいません。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6			・本年度、専門機関への研修を実施し、助言をいただいています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	5		
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	7			・管理者が積極的に参加し、朝礼や会議で、職員に内容を報告しています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8			・連絡帳、送迎時にお伝えしています。緊急時やお会いできない保護者様には電話でお伝えしています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	7		・必要に応じて保護者の悩み相談を行っている。	・必要と思えるご家庭には、随時支援を行っています。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8			・契約時に丁寧に説明しています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8		・電話以外にもリムや送迎時に話し、相談事や悩み事など聞いたことを職員が共有し、必要な助言、支援につなげている。	・連絡帳、電話、送迎時にご相談があります。時間の許す限り、助言と支援を行っています。必要と感じた時は、改めて時間を作り、相談に乗っています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	8			・年に1回、茶話会を開催しています。楽しみにして毎回参加して下さる保護者様もいらっしゃるの、回数を増やすことを検討しています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	8			・今のところ、苦情はありませんが、、あった場合は迅速・適切に対応できるよう、職員間の情報共有、管理者への報告を徹底しています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	1		・定期的ではありませんが、随時お便りをお出ししています。
	35	個人情報に十分注意している	8			・個人ファイルは、鍵付きの書庫に保管するなど、十分注意しています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8			・書面、口頭、電話等、ご家庭によって伝え方を変えています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4	2		
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7		・集団活動に取り入れている。	・随時研修を行っています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8		・半年に1度訓練を行っている。	・年2回避難訓練を行っています。集団活動に組み込んでおり、実施日には連絡帳にて保護者様へお伝えしています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8			・年2回の虐待防止、身体拘束防止研修を行っています。 ・事業所内に委員会を設け、会議を行っています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6		・保護者に普段の様子を十分に説明し、理解してもらってから行っている。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8		・保護者に普段の様子を十分に説明し、理解してもらってから行っている。 ・アレルギー表を作っておやつを提供している。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8			・職員の手の届きやすいところへ保管し、すぐに書か、読むが出来るようにしています。 ・朝礼など口頭でも報告しています。